

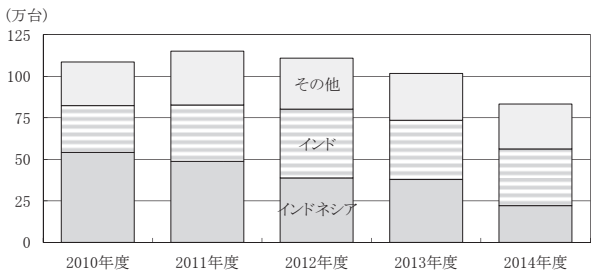
スズキ、インドネシアで市場シェアが1.8%に低下、

二輪車

スズキのアジア二輪車事業の低迷が続いている。2014年度の二輪車販売台数は前年度比18.1%減の83.3万台で、5年ぶりに100万台を下回った。二輪車市場の拡大が続くインドで販売台数を減らしていることに加え、インドネシアで市場全体の下げ幅を大きく上回って落ち込んでいるためである。

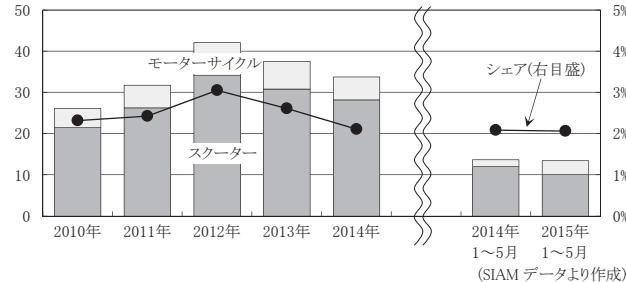
インドネシアでの販売低迷が深刻化。2014年販売は前年比30.2%減の27.5万台で、シェアは1.6ポイント減の3.5%となった。2015年1~5月販売は前年同期比65.9%減の4.7万台となり、シェアを1.8%にまで落とした。ホンダやヤマハが製品投入を加速する中、2013年5月投入のShooter以降、目立った製品投入がないのが大

【スズキ、アジア国別二輪車販売台数の推移(2010~2014年度)】

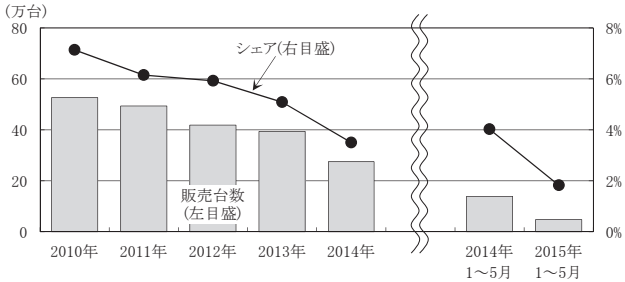


注) 中国を除く。(スズキ広報資料より作成)

【スズキ、インド車種別二輪車販売台数・シェアの推移(2010~2014年、2014/2015年1~5月)】

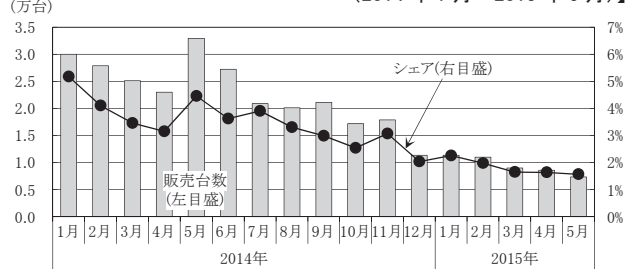


【スズキ、インドネシア二輪車販売台数・シェアの推移(2010~2014年、2014/2015年1~5月)】



(Astra International データより作成)

【スズキ、インドネシア二輪車販売台数・シェアの推移(2014年1月~2015年5月)】



(Astra International データより作成)

【スズキ、アジア国別二輪車販売台数(2010~2014年、2014/2015年1~5月)】

(単位:台)

生産	国	車種	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	前年比)	2014年	2015年	前年
									1~5月	1~5月	同期比)
生産	インド	スクーター	214,398	262,700	342,033	308,075	289,320	(▼6.1%)	121,674	106,084	(▼12.8%)
		モーターサイクル	48,467	61,817	83,610	70,501	79,033	(12.1%)	24,133	53,138	(2.2倍)
		計	262,865	324,517	425,643	378,576	368,353	(▼2.7%)	145,807	159,222	(9.2%)
	タイ	モペッド	61,048	75,367	92,567	64,405	58,727	(▼8.8%)	25,325	28,299	(11.7%)
	台湾		40,604	33,281	28,101	30,563	25,938	(▼15.1%)	9,334	10,871	(16.5%)
販売	パキスタン		19,618	20,123	21,300	22,810	23,870	(4.6%)	10,867	9,159	(▼15.7%)
	インド	スクーター	214,229	262,567	340,707	307,747	281,488	(▼8.5%)	119,971	101,072	(▼15.8%)
		モーターサイクル	47,021	54,437	80,188	67,479	56,132	(▼16.8%)	16,826	33,306	(97.9%)
		計	261,250	317,004	420,895	375,226	337,620	(▼10.0%)	136,797	134,378	(▼1.8%)
	市場シェア		2.3%	2.4%	3.0%	2.6%	2.1%	(▼0.5pts.)	2.1%	1.8%	(▼0.3pts.)
	インドネシア		525,987	493,095	418,940	393,803	275,067	(▼30.2%)	139,088	47,367	(▼65.9%)
	市場シェア		7.1%	6.2%	5.9%	5.1%	3.5%	(▼1.6pts.)	4.0%	1.8%	(▼2.2pts.)
	タイ	スクーター	13,973	9,644	15,304	20,739	9,990	(▼51.8%)	4,463	2,421	(▼45.8%)
		ファミリー	51,812	68,227	60,151	31,758	27,697	(▼12.8%)	12,550	8,179	(▼34.8%)
		その他	359	1,118	813	359	2,198	(6.1倍)	1,004	1,406	(40.0%)
計	66,144	78,989	76,268	52,856	39,885	(▼24.5%)	18,017	12,006	(▼33.4%)		
市場シェア		3.6%	3.9%	3.6%	2.6%	2.3%	(▼0.3pts.)	2.5%	1.6%	(▼0.9pts.)	
パキスタン		19,013	21,154	20,298	23,049	23,385	(1.5%)	10,453	10,045	(▼3.9%)	
市場シェア		2.6%	2.6%	2.6%	3.0%	3.4%	(0.3pts.)	3.4%	3.2%	(▼0.2pts.)	
台湾		13,133	10,827	8,658	10,110	9,956	(▼1.5%)	4,045	4,102	(1.4%)	
市場シェア		2.4%	1.7%	1.4%	1.6%	1.5%	(▼0.1pts.)	1.5%	1.5%	(0.1pts.)	
輸出	タイ	CBU	1,004	28,185	25,760	14,823	31,977	(2.2倍)	11,948	14,829	(24.1%)
		CKD	101,336	84,754	92,492	94,014	80,376	(▼14.5%)	23,520	35,549	(51.1%)
		計	102,340	112,939	118,252	108,837	112,353	(3.2%)	35,468	50,378	(42.0%)
	インド	スクーター	145	183	990	585	3,602	(6.2倍)	545	3,682	(6.8倍)
		モーターサイクル	1,296	5,487	2,598	4,510	21,089	(4.7倍)	7,224	18,951	(2.6倍)
計		1,441	5,670	3,588	5,095	24,691	(4.8倍)	7,769	22,633	(2.9倍)	
台湾		28,343	22,904	18,442	20,578	16,275	(▼20.9%)	6,375	7,165	(12.4%)	

(各国自動車工業会データより作成)

インドでは Gixxer は好調だがシェアは2%に留まる

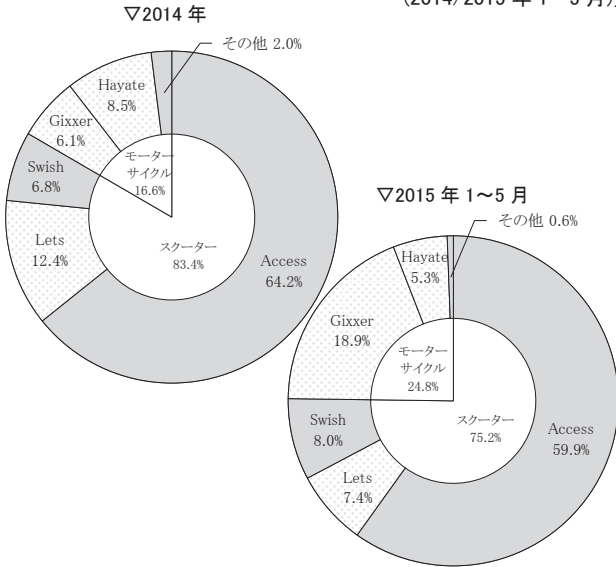
Motorcycles

きな原因となっている。2014年10月にスクーター Address を投入しており、量販市場で拡販を目指す。同モデルはインドネシアで生産しており、ASEAN 諸国向けに加え、欧州、日本、豪州、ニュージーランドに輸出。年間15万台以上を輸出する目標を掲げる。

インドの2014年販売は10.0%減の33.8万台となり、

シェアを0.5ポイント減の2.1%に下げた。2015年1~5月は1.8%減の13.4万台で、シェアは2.1%と前年水準を維持した。2014年8月に発売したモーターサイクル Gixxer(排気量150cc)が好調。スズキは150cc以上のセグメント向けに製品を拡充する方針で、2015年5月には1,000ccクラスで新製品2モデルを投入した。(山本)

【インド、車種別セグメント別二輪車販売台数構成比 (2014/2015年1~5月)】



(SIAM 資料より作成)

【インド、車種別モデル別二輪車販売台数 (2014年、2014/2015年1~5月)】

車種	モデル	2014年	2014年1~5月	2015年1~5月	(前年同期比)
スクーター	Access	216,863	95,966	80,475	(▼16.1%)
	Swish	22,844	15,116	10,715	(▼29.1%)
	Lets	41,781	8,889	9,882	(11.2%)
	計	281,488	119,971	101,072	(▼15.8%)
モーターサイクル	Gixxer	20,661	-	25,377	(-)
	Hayate	28,770	13,974	7,140	(▼48.9%)
	Slingshot	2,709	1,736	522	(▼69.9%)
	GS150R	3,675	1,016	194	(▼80.9%)
	Hayabusa	81	29	44	(51.7%)
	Intruder	25	17	15	(▼11.8%)
	GSX-R1000	6	3	8	(2.7倍)
	INAZUMA	196	47	5	(▼89.4%)
	V-Storm	6	2	1	(▼50.0%)
	Bandit	2	1	-	(▼100.0%)
	VZ800	1	1	-	(▼100.0%)
計	56,132	16,826	33,306	(97.9%)	
二輪車販売合計		337,620	136,797	134,378	(▼1.8%)

(SIAM 資料より作成)

【スズキ、アジア事業動向】

地域・国	動向	詳細
ASEAN	生産拠点集約	<ul style="list-style-type: none"> 2015年6月に発表した新規中期経営計画(2015~2019年度)においてASEANにおける生産拠点を集約することで事業基盤を強化する戦略を発表。 -ASEANでは、インドネシア(生産能力150万台/年)、ベトナム(同10万台)、タイ(同40万台)、フィリピン(同20万台)、マレーシア(同3万台)、カンボジア(同5万台)、ラオス(同3,000台)に生産拠点を展開。
インド	販売目標	<ul style="list-style-type: none"> 2015年度の販売目標は前年度比約30%増の50万台。 2015年度に輸出台数を2014年度の3万台から50万台に引き上げる目標を掲げる。輸出先は南米、中近東、アフリカ、アジア諸国、日本。
	製品投入	<ul style="list-style-type: none"> 排気量150cc以上のニッチ市場でプレゼンスの確立を目指す。また、排気量800cc以上のスーパーバイク市場で販売40%増を目指す。 2014年8月、モーターサイクル Gixxer を発売。排気量は150cc、Suzuki Eco Performance (SEP)システム採用の新開発エンジンを搭載。競合モデルはBajaj Pulsar、ヤマハ R15。販売価格は8.3万ルピー(Ex Showroom New Delhi)。 -2015年4月、フェアリングを装備した Gixxer SF を追加。 -2015年6月までに、「Bike of the Year」等13の賞を受賞。 2015年5月、モーターサイクル GSX-S1000、GSX-S1000F を発売。排気量とともに999ccで、販売価格はそれぞれ122.5万ルピーと127万ルピー(Ex Showroom New Delhi)。 -インドにおける排気量1,000ccクラスの大型二輪車需要の拡大に対応。
	販売網	<ul style="list-style-type: none"> 販売網を2015年4月時点の800カ所から2016年3月までに1,500カ所に拡大する計画。
インドネシア	能力増強	<ul style="list-style-type: none"> 2015~2018年にかけて、6億米ドルを投じて、二輪車の生産能力を増強する方針。 -2015年初時点の年産能力は150万台で、生産台数は35万~40万台と見られる。
	製品投入	<ul style="list-style-type: none"> 2014年9月以降、モーターサイクル Hayabusa(排気量1,300cc)、GSR-750(同750cc)、V-Strom 650ABS(同650cc)、中型スクーターBurgman 200(同200cc)を順次投入。Burgman 200はタイから、その他3モデルは日本から輸入。 -スポーツタイプの人気の高まりに対応し、中大型二輪車のラインナップを拡充しシェア拡大を図る。 2014年10月、スクーターAddress(同110cc)を投入。販売価格は1,487万ルピー。インドネシアで生産。販売目標台数は12万台。
	輸出拠点化	<ul style="list-style-type: none"> 2015年以内に、スクーターAddress 110のASEAN域外への輸出を本格化する予定。これまではASEAN諸国向け輸出が中心。 -Addressの輸出目標は15万台で、このうち5万台以上をASEAN以外へ輸出する。欧州向けは3.5万台、日本向けは6,000台。 -主な輸出先は、欧州、日本、豪州、ニュージーランド、ASEAN。
タイ	販売目標	<ul style="list-style-type: none"> 2015年の販売目標は前年比25.4%増の5万台。

(スズキ広報資料、各種報道より作成)